

水鳥真美・防災担当国連事務次長補兼事務総長特別代表を表敬訪問しました (2018/10/8)

テーマ：世界防災フォーラム、災害統計グローバルセンター
場所：国連国際防災戦略事務局（UNISDR）本部（スイス・ジュネーブ）

2018年10月8日（月）、当研究所の小野裕一教授（情報管理・社会連携部門 社会連携オフィス）兼世界防災フォーラム事務局長 兼 災害統計グローバルセンター長は、富士通（株）の吉野賢グローバルビジネス統括部長とスイス・ジュネーブの国連国際防災戦略事務局（UNISDR）本部の水鳥真美・防災担当国連事務次長補兼事務総長特別代表を表敬訪問しました。UNISDRは2015年3月に仙台で開催された第三回国連防災世界会議の事務局を務め、現在は会議の成果文書である仙台防災枠組のモニタリングに力を入れています。このモニタリングに貢献すべく東北大学災害科学国際研究所に発足したのが災害統計グローバルセンターで、水鳥氏からは更なる連携と協力を求める発言がありました。センターとしてUNISDRの活動をさらに支援して盛り上げていくことを約束しました。また、2019年11月9-12日に仙台で予定されている第二回世界防災フォーラムへの参加要請に対して、水鳥氏は「東北の復興は個人としても組織としてもできるだけ応援させていただきたいと思っています。」とのご意見を披露されました。国連の防災部門のトップである水鳥氏からの言葉だけに大変嬉しく受け止めましたので、被災地の皆様と共有させていただきたいと思います。1時間にわたる対談には、UNISDRからは新垣尚子部長、リカルド・メナ部長も同席されました。会談の終わりには、東松島の復興に一役買っている「おのくん」を「おのくん大使」の小野教授から水鳥氏に贈呈させていただきました。



水鳥氏に「おのくん」を贈呈する小野教授

文責：小野裕一（情報管理・社会連携部門）